

アンモニア浸漬試験と評価メニュー紹介

- 1 液体アンモニア浸漬試験（浸漬、電気化学測定）
- 2 浸漬前後の評価メニュー（低温強度試験、熱伝導測定、絶縁抵抗試験）

1 液体アンモニア浸漬試験

LNH₃と接する材料（金属、セラミック、樹脂、断熱材、電気部品等）を浸漬し、評価します。

使用環境や安全対策環境に合わせて、水やガス等の添加の試験を提供します。

金属材料は、大型化や軽量化による材料選定や溶接構造物としての安全評価（割れ発生の有無）、寿命予測が必要です。

浸漬電位や分極の測定の評価、電位印加による加速試験が可能です。

容器サイズ（2L、4L）を保有しています。**同時に多くの評価が可能です。**例えば、ISO16540の4点曲げサイズも同時に4個の評価できます。

樹脂、セラミックス等の断熱材は、LNH₃浸漬による低温劣化や膨潤、溶出等の物性変化等の把握も有益です。浸漬後の引張試験や永久圧縮ひずみ試験、物性評価を提供します。



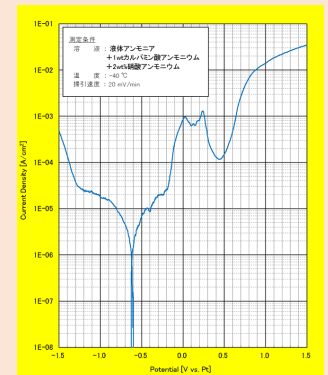
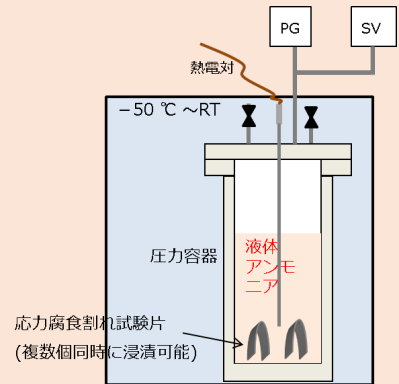
Uバンド



4点曲げ試験片

【試験設備仕様】

- ・圧力容器：内容積 2L、4L
- ・試験温度：-50℃～RT
- ・試験圧力：1MPa未満



電気化学測定(分極)

2. 浸漬前後の評価メニュー

- (1) 試験前後の低温物性試験
- (2) 試験前後の熱伝導率の評価（ホットディスク法）
- (3) 試験前後の絶縁性試験（絶縁耐圧試験）
- (4) 機器分析・表面分析装置を用いた各種評価

この技術資料に関するお問い合わせは、最寄り営業担当に連絡いただくか、もしくは弊社問合せ窓口までお知らせください。
mailto:inquiry_eigy@kki.kobelco.com